

## ☆松阪市立鎌田中学校区の取組



### ◆事業概要

#### 1 中学校区の現状と課題

鎌田中学校区は2013（平成25）年度から小中連携型のコミュニティ・スクールに取り組んでいます。各校に学校運営協議会を設置し、学習支援ボランティアによる家庭科の調理実習や算数の授業等の支援を行っています。また、住民協議会でも月2回の「土曜学級」を実施し、主に算数の補充学習等を実施しています。このように、学校・家庭・地域が連携しながら取り組んでいますが、様々な要因で学習環境が整わず、学習習慣が定着しにくいという子どもの状況があったり、学習に対する意欲が十分に高められなかったりする等、課題が見られました。

そこで、各学校における農業体験、学習ボランティア等これまで保護者や地域住民とともに創ってきた地域連携の強みを活かして、鎌田中学校区子ども支援ネットワークを構築し、子どもたちの自尊感情や学習意欲を高め、将来の展望を持てるように取組を計画しました。

#### 2 課題解決のための主な取組

##### (1) 人権学習会を通して学ぶ

第四小学校では、人権感覚を高め、多様な人々とともに、より良く生きる未来づくりを進めるための学習の一つとして、「障がいのある人とともに生きる」をテーマに講師を招き、保護者や地域住民と一緒に学ぶ人権学習会を開催しました。

学習後の子どもたちの感想の中には、「ありのままの自分に自信を持って、生きることの大切さに気づいた」という感想がありました。

港小学校では、小学校低中学年対象に自己に対する信頼や自信を取り戻し、周囲の人とのより良い関係を築いていくことをねらいとし、「自分がすき、人がすき」というテーマで講師の話聞くことを通して、参加した保護者とともに理解を深めました。また、高学年を対象とした、性的マイノリティの人権に係る学習会も実施しました。



人権学習会「障がいのある人とともに生きる」



人権学習会「自分がすき、人がすき」

##### (2) ドリームマップづくり

中学生を対象として、子どもたちが将来の夢を描き、学習意欲を高めることをねらいとして、ドリームマップづくりを実施しました。松阪市の住民を含む8人のドリームマップ認定講師の支援のもと、子どもたちは、将来の自分の夢を描き、自分の夢を人に伝えたり、人の夢を応援したりすることを通して、夢が実現していくことを学びました。具体的には、思い込みを転換するための学習、自分の性格のマイナスイメージをプラスに転換するための活動、ドリームマップづくりに向けた言葉のルールについて等を学びました。熱く問いかける講師陣からの言葉に、子どもたちは、自分の夢を描いていくためのヒントを得ることができました。

「将来の夢は今のところない」と答えていた子どもたちも、学習を通じて、自分の夢を描くことができる機会となりました。



ドリームマップづくり

### ◆実践を振り返って

鎌田中学校区では、学習支援ボランティアを活用して、家庭科や算数等の授業支援や算数を中心とした補充学習に取り組んできました。

今年度は子ども支援ネットワークを構築したことで、これまでにあった地域連携のしつこさをさらに強化することができ、自尊感情を高めていくことや将来の夢を展望した取組を実施できました。

今後も、一人ひとりの子どもの実態に合った課題解決の取組を実施できるよう、これまでの取組を見直し、工夫を加えながら進めていきたいと考えています。